

(お知らせ)

## 地震発生後のプラント状況について（午前6時30分現在、第四報）

平成23年3月12日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

本日、午前3時58分頃以降断続的に地震が発生しておりますが、午前6時30分現在の運転状況は以下の通りです。

地震前に運転中であった1、5、6、7号機については、安定運転を継続しています。発電所内で観測された地震の加速度の最大値は、6号機原子炉建屋基礎版において午前3時58分頃に観測した、18.9ガルでした。

現時点における外部への放射能の影響はありません。（午前6時30分時点）

地震後の現場パトロールにより、これまでに2、4号機の原子炉建屋のオペレーティングフロア（管理区域内）の使用済燃料プール付近で、地震により飛散したプール水と思われる水たまりが確認されました。

なお、水たまりの水は拡がっておらず、管理区域のオペレーティングフロア内にとどまっており、外部への流出はありません。

オペレーティングフロアにおける飛散した水たまりの放射エネルギーについて測定した結果は検出限界値未満でした。

＜オペレーティングフロアにおける水たまりの状況＞

号機	水たまりの量	放射エネルギー
2号機	約0.02L	検出限界値未満
4号機	約3.0L	検出限界値未満

飛散した水たまりの総量は約3.0Lで、飛散した水たまりについては、今後拭き取り清掃を行います。

また、現在、引き続き各プラントの状況について点検を実施しております。

以上